

フィリピンの被災状況訴え ミス・ユニバースの仲間ら 戸田で支援の募金活動



募金を訴える田中美愛さん、蘭田杏奈さんと看護学校生たち―戸田公園駅

戸田市のJR埼京線戸田公園駅で、フィリピンの台風被災地を支援する緊急募金が行われ、ミス・ユニバース・ジャパン埼玉ファイナリストで母親がフィリピン人の田中美愛さん(21)や、戸田中央看護専門学校の生徒らが呼び掛けた。

募金活動には、戸田中央病院の女子ソフトボール選手や病院職員らも駆けつけ総勢80人が訴えた。田中さんは前夜から体調を崩していたが、自宅近くの診療所で受診して参加。早朝の肌寒さにもかかわらず、薄着の青い民族衣装を着た。

「コートを着て募金活動をしたくない。フィリピンでは、今でも服がない子がいる。台風直撃がなかった祖母の田舎は避難の人たちで道路もいっぱい。従兄弟たちの電話の話では、お金も食料も届いていない」と、田中さん。

ミス・ユニバースの仲間は10人が参加。埼玉グランプリの所沢市の蘭田杏奈さん(25)は「フィリピンのことを少しでも考えてほしい」と訴えた。

32万8177円が集まり、一週間前の活動で集まった32万3400円と合わせ65万1577円を日赤に寄託した。

同看護学校1年生の今井優佑さん(18)は「僕らの気持ちと、募金してくれた人の気持ちも大事にしたい。将来は頼りにされる、いつも笑顔の看護師になりたい」と話していた。

(岸鉄夫)